

主題：信者

メッセージ 2

その信仰の家族

聖書：ガラテヤ6:10. I テモテ1:19. II ペテロ1:1. ヘブル11:1, 5-6. 12:1-2.

ローマ10:17

- I. 信者は、その信仰の家庭のメンバー、その信仰の家族のメンバーです。神の家、永遠のベテルは、神の心の願いであり、信仰の家です——ガラテヤ6:10. 創28:11-12, 16-19前半：
- A. 信仰には二つの意味があります。すなわち、客観的な意味と主観的な意味です——I テモテ1:19. II ペテロ1:1：
1. 客観的な意味において、「その信仰」は、わたしたちが信じているものを言います。「その信仰」とは、神の新約エコノミーにしたがった全体的な福音の内容、キリストのパーソンと彼の贖いの働きに関する新約の啓示全体です——使徒14:22. I コリント16:13. ユダ3, 20節. エペソ4:13. II テモテ4:7。
 2. 主観的な意味において、「信心」は、信者たちの信じる行為、信じることの行為です——ガラテヤ2:20. ローマ1:17。
- B. わたしたちは信仰のこれら二つの意味を見るために、カメラの例証を用いてもよいでしょう。「信仰」の信じる行為、「カチャ」は、「その信仰」の客観的で神聖な光景を輝かせて、わたしたちの存在の中にもたらしめます。これは、神のエコノミーの実際（真理）であるキリストについての神聖な光景を、わたしたちの経験において主観的なものとならせ、わたしたちの実際、わたしたちの真理となさせます。こういうわけで、「信仰」はあらゆるものをそれによって実体化して、わたしたちの経験において主観的なものとなさせます——ヨハネ14:6. 8:32, 36. II コリント4:6-7, 13. 5:7。
- II. わたしたちは、他のあらゆる対象から目を離すことによって、余念なく、イエス（わたしたちの信仰の創始者、また完成者）をひたすら見つめる必要があります——ヘブル12:1-2. 雅1:4. II コリント3:16-18. 詩27:16-18：
- A. 信者の信仰は、実は彼ら自身の信仰ではなく、キリストが彼らの中に入って彼らの信仰となったものです——ローマ3:22とフットノート1. ガラテヤ2:16とフットノート1：
1. わたしたちの信じることは、キリストに対するわたしたちの評価であり、彼の引きつけることと神聖な注入に対する反応です——ローマ10:17. 4:16-20. 使徒7:2. 14:27. 創12:1-3, 7-8. 13:14-17. 15:1-7. 17:1. 第18章. 参照、イザヤ60:1, 5。

2. わたしたちの天然の人の中には、信じる能力はありません。わたしたち自身には信仰はありません。わたしたちがそれによって救われた信仰は、わたしたちが主から受けた尊い信仰、すなわち、神の割り当てた信仰です——Ⅱペテロ1:1. コロサイ1:12。
 3. わたしたちがひたすらイエスを見つめるとき、命を与える霊としての彼は（Ⅰコリント15:45後半）、わたしたちに彼ご自身を、すなわち、彼の信じる要素を注入します。この信仰は、わたしたち自身からのものではなく、彼からのものです。彼は、信じる要素としてのご自身をわたしたちの中に分け与え、わたしたちに代わって彼が信じてくださいます——ヘブル12:1-2. ガラテヤ2:20。
- B. わたしたちの信仰の霊は、わたしたちが活用しなければならない器官であり、見えない神のあらゆるものを実体化し、客観的に彼であるすべてを、わたしたちの中に移し入れ、わたしたちの主観的な経験とならせます——ヨハネ4:24. ヘブル11:1, 27. Ⅰペテロ1:8. 2:7. Ⅱコリント4:13:
1. 信仰は、聖霊とミングリングされているわたしたちの霊の中にあるのであって、わたしたちの思いの中にあるものではありません。疑いはわたしたちの思いの中にあります——参照、ヘブル4:2。
 2. わたしたちの再生された霊、わたしたちの信仰の霊が、サタンの組織化し強奪したこの世に打ち勝つ勝利です——Ⅰヨハネ5:4, 18. ヨハネ3:6後半。
- C. わたしたちは、見えるものではなく、見えないものに目をとめ、見つめます。なぜなら、見えるものは一時的ですが、見えないものは永遠であるからです——Ⅱコリント4:18. 5:7。
1. クリスマン生活とは、目に見えない事柄の生活です——ローマ8:24-25. ヘブル11:27。
 2. 召会の墮落は、目に見えないものから見えるものへの墮落です。主の回復は、目に見えないものから見えないものへと彼の召会を回復することです——1節。
- D. 信仰とは、「神はある」を信じることです——6節。
1. 「神はある」を信じるとは、彼がわたしたちにとってすべてであり、わたしたちは無であることを信じることです——ヨハネ8:58. 伝1:2。
 2. 「神はある」を信じるとは、わたしたちはないことを暗示しています。すなわち、彼はあらゆることにおいてただひとりの方、唯一の方でなければならず、わたしたちはあらゆることにおいて無でなければなりません——ヘブル11:5. 創5:22-24。
 3. 「神はある」を信じることは、わたしたちの自己を否むことです。すなわち、全宇宙において「彼はある」であり、わたしたちすべては無であるということ——ルカ9:23。
 4. 祈りは実際に自己を否むことです。それはキリストがわたしたちの置き換えとなり、わたしたちにとってすべてとなられるためです。祈るという意味は、「もはやわたしではありません。キリスト」です——ガラテヤ2:20. マルコ9:7-8. 参照、

使徒9:4-5, 11. 13:9前半。

5. これは信仰です——「おお、何というよろこびぞ、何も持たず、無であり、栄光の中にある生けるキリスト以外には何も見ず、この地の彼の權益だけを顧慮することは」——J・N・ダービー。
- E. 信仰は、言葉を聞くことから来ます。わたしたちが生ける御言（キリスト）、書かれた言葉（聖書）に来るとき、彼はわたしたちに適用される信仰の言葉（その霊）となります——ローマ10:8, 17. ヨハネ6:63. ガラテヤ3:2. 参照、ヘブル3:12。
- F. 信仰は、愛を通して働きます。信仰を聞くことは、愛するという評価を引き起こします。わたしたちが主を愛すれば愛するほど、ますます信仰は働き、すべてを含む霊の豊富と益の中にわたしたちをもたらしめます——ガラテヤ5:6. マルコ12:30。
- G. 信仰は、わたしたちの存在に適用される主観的な神です。それゆえ神にできないことがないように、信仰にできないことはありません——マタイ17:20. 19:26。
- H. わたしたちすべては質において同じ信仰を持ちますが、わたしたちが持つ信仰の量はどれほどわたしたちが生ける神と接触し、わたしたちの中で彼に増し加わっていただくかにかかっています——ローマ12:3. 使徒6:5. コロサイ2:19。
1. 前進段階にある信仰は、わたしたちが三一の神と接触することを通して来ます。この方は、わたしたちの中の信仰です——ヘブル4:16. I テサロニケ5:16-19。
 2. そのような信仰を受け入れる方法は、その源、すなわち主、手順を経て究極的に完成された神と接触して、彼を呼び求め、彼に祈り、彼の言葉を祈り読みすることによってです——ローマ10:12. II テモテ2:22. エペソ6:17-18. 参照、ヘブル4:2。
 3. わたしたちが彼と接触するとき、彼はわたしたちの内側であふれ流れており、信仰の相互性がわたしたちの間にあります。わたしたちは、互いの中にある信仰を通して励まされます——ローマ1:12. ピレモン6-7節。
- I. 抑制できない、無限の大きな信仰の力は、無数の人々を動機づけて、主のために苦難を受けさせ、命の危険を冒かさせて、遣わされた勝利者、殉教者とならせ、信仰の中にある神の永遠のエコノミーを遂行します——ルカ18:8. ピリピ2:20. ローマ16:3-4. 使徒20:24. I テモテ1:4。